



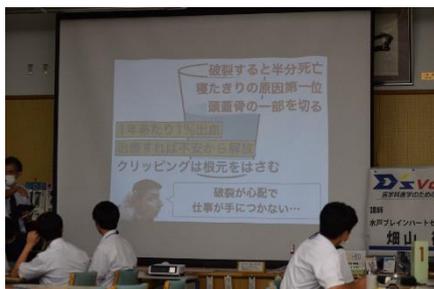
医学科志望の生徒を対象とした説明会・講座の様子です。(本校会場)

《弘前大学医学部説明会》



講師：弘前大学医学部教授
鬼島 宏 先生

《医学科進学のための特別講座 D'sVoiceの様子》



講師：水戸ブレインハートセンター院長
畑山 徹 先生

進路志望について考えよう②

「THE 世界大学ランキング日本版 2020」 東北大学が初のトップに

2020年3月24日、Times Higher Education (THE: ティー・エイチ・イー) は昨年に引き続き、ベネッセをパートナーに「THE 世界大学ランキング日本版 2020」をリリースしました。日本版ランキング 2020 の結果をご紹介します。

- ランキング対象は 278 校
- 東京工業大学が前年の 7 位から 3 位タイに躍進
- 「国際性」の順位が大きくアップした大学が目立つ

イギリスの高等教育専門誌「Times Higher Education (THE)」は 3 月 24 日、ベネッセグループとのパートナーシップに基づく「THE 世界大学ランキング日本版 2020」のランキング対象となった 278 大学を発表しました。東北大学が前年から 2 つ順位を上げて初めてトップになりました。2 位は京都大学、3 位タイが東京大学と東京工業大学でした。私立大学の最上位は前年と同じく 11 位の国際基督教大学でした。ランキング指標 4 分野のうち「国際性」の順位を大きく上げた大学が私立中心に目立ちます。

ランキング対象は国立 67 校、公立 44 校、私立 167 校

THE は各大学が自らの強みや個性を明確にして一層強化できるよう、様々な大学ランキングを作成しています。教育力重視の「THE 世界大学ランキング日本版」は学生の学びの質や成長性に焦点を当て、大学の教学改革やグローバル化の推進に活用してもらうことが目的です。受験生や社会に対して入試難易度以外の大学の価値を示すとともに、日本の大学の多様性を世界に発信するねらいもあります。

4 年目となる今回のランキング対象校は 278 校で、前回の 213 校から 65 校増えました。これまでと同様、ランキング指標は「教育リソース」「教育充実度」「教育成果」「国際性」の 4 分野で構成されます。「教育充実度」の項目として 2019 年度から加わった学生調査は、今回も教員との交流や協働学習の機会など、初回と同じ設問で実施されました。今回、初めて総合ランキングに入ったのは帯広畜産大学 (55 位) と京都府立医科大学 (111-120 位) など 18 校でした。

総合ランキング「トップ 10」を解説

トップ 10 は順位の変動のみで顔ぶれは変わっていません。前年 3 位の東北大学が初のトップとなり京都大学 (2 位) と東京大学 (3 位タイ) は一つずつ順位を下げました。東北大学は教育充実度を除く 3 分野で順位を上げ、特に教育成果 (7 位→4 位)、国際性 (46 位→24 位) の上げ幅が大きかったです。東京工業大学は教育充実度 (25

位タイ→9位)の16ランクアップで初めてトップ3(タイ)に入りました。9位の筑波大学は学生調査を導入した前年、今回も「教育充実度」が国立大学として最上位の3位で、旧帝大が並ぶトップ10の中でも際立つ特色を持ちます。国際教養大学(10位)は前回、前々回に続き「教育充実度」と「国際性」の両分野で1位を維持しました。

私立の強みは「国際性」と「教育充実度」

4分野それぞれについて、50位までに入った私立大学の数を見ると「教育リソース」14校、「教育充実度」24校、「教育成果」15校、「国際性」31校で、「国際性」と「教育充実度」が強みだとわかります。

今回は特に「国際性」の順位が大きく上がった私立大学が目立ち、梅光学院大学(15位→5位)、創価大学(16→6位)、関西外国語大学(18位→10位)がこの分野でトップ10入りしました。ほかに恵泉女学園大学(42位タイ→25位)、桜美林大学(38位→28位)、東洋大学(47位タイ→31位)のランクアップも目を引きま

す。国立大学でも近年「国際性」分野の取り組みが進み、東北大学(46位→24位)に加え大阪大学(47位タイ→38位)、京都工芸繊維大学(51位→41位)などで成果が出ています。公立の福岡女子大学も13位→8位と5ランクアップしました。

THE世界大学ランキング日本版2020 総合ランキング1位～10位の大学

総合順位	大学名	設置区分	スコア				
			総合	教育リソース	教育充実度	教育成果	国際性
1	東北大学	国立	83.0	84.1	80.6	96.6	73.9
2	京都大学	国立	81.5	83.4	78.7	98.4	69.1
=3	東京大学	国立	81.2	86.5	79.8	94.1	64.0
=3	東京工業大学	国立	81.2	80.1	80.8	92.8	74.5
5	九州大学	国立	79.7	76.4	79.9	97.4	70.9
6	北海道大学	国立	79.6	73.8	83.4	94.1	72.3
7	名古屋大学	国立	79.5	78.2	80.5	96.1	66.9
8	大阪大学	国立	78.9	78.0	77.2	97.9	68.1
9	筑波大学	国立	77.7	74.1	84.9	94.4	59.6
10	国際教養大学	公立	77.2	52.8	93.0	71.0	100.0

※「=」は同順位
※同順位の場合はアルファベット順に掲載

【THE世界大学ランキング日本版より引用】

難関国立10大学における志望動向 ～2020年度高3生総合学力記述模試7月～

東北大では、近年、総合型選抜の拡大が続いているが、2021年度入試でも文学部、経済学部(文系入試)・教育学部・法学部・農学部・医学部(保健)で一般選抜の募集人員が合計68人減少し、総合型選抜の募集人員が増加する。東北大全体でみると、2021年度入試は総合

型選抜の募集人員が全体の約28%となる見込みとなっている。また、2021年度の一般選抜における個別試験で全ての文系学部で国語の試験時間が120分から150分に変更される。「論理的な思考力・判断力・表現力等」を適切に評価するため、としている。

東京大では、2021年度入試で、共通テストの英語において、従来のセンター試験では活用されていなかった「リスニング」が導入される。リーディングが140点満点、リスニングが60点満点の配点となる。

東京工業大では、生命理工学院の前期日程の志望者数が対前年指数129と大きく増加している。生命理工学院では後期日程の募集を停止し、東京工業大では全学院で後期日程の募集が廃止されることになる。東京大の併願先として挙げられる募集単位であっただけに今後の志望動向にも影響があると考えられる。

北海道大では歯学部の後期日程の募集を停止する。これにより難関国立10大学では歯学部の後期日程の募集は全てなくなる。このように2021年度入試では近年落ち着きつつあった後期日程の縮小や廃止が多くみられる。

神戸大では、2021年度入試で海事科学部を海洋政策学部に変更する。前期日程の選抜はこれまでの1方式での実施から、理系科目重視型、文系科目重視型の2方式での実施となる。今回の模試では前期日程の志望者数は対前年指数85となっているが、今後の認知の広がりによって志望者数が増加する可能性もあるため注目したい。

九州大では、2021年度入試で工学部が6学科から12学科に改組され、選抜はI群～VI群の6区分で実施されるようになる。今回の模試では改組情報は反映されていないが、工学部全体の前期日程の志望者数は対前年指数86と減少している。

難関国立10大学における医学部医学科について、国公立大全体の傾向と同様に多くの大学で志望者数が増加している。特に北海道大、大阪大などは増加がめだつ。

一般に難関国立10大とは・・・北海道大、東北大、東京大、東京工業大、一橋大、名古屋大、京都大、大阪大、神戸大、九州大のことを指し、ブロック大とは筑波大、千葉大、横浜国立大、新潟大、金沢大、岡山大、広島大、熊本大、東京都立大、大阪市立大のことを指します。

【2020年度高3生総合学力記述模試7月2021年度入試動向より引用】